



# 祝賀能 〈翁〉付〈高砂〉を 考える

事前申込必要

移転記念事業のひとつとして行う「祝賀能〈翁〉付〈高砂〉」(5月3日開催予定)の鑑賞に向けた事前講座を、2期にわたって開催します。

〈翁〉付〈高砂〉そして能楽に込められた祝言・祝賀性について理解を深めるための専門性の高い講座です。

皆様のご参加をお待ちしております。



©金剛永謹

前編

## 〈翁〉付〈高砂〉の歴史と背景〈全5回〉

2024年2月21日/2月28日/3月6日/3月14日/3月27日  
午後6時30分～午後8時 受講料 5,000円 定員 40名

後編

## 〈翁〉付〈高砂〉の舞台・演技・演出〈全5回〉

2024年4月3日/4月11日/4月17日/4月25日/5月1日  
午後6時30分～午後8時 受講料 5,000円 定員 40名

申込方法

本学ウェブサイト内のイベント情報に設置する申込フォームより、会期ごとにお申込みください。(先着順)



◀ <https://www.kcua.ac.jp/denonrenzoku2024sp/>

申込  
期間

〈前編〉2024年1月31日(水)10:00～2月14日(水)17:00

〈後編〉2024年3月13日(水)10:00～3月27日(水)17:00

- 〈前編〉〈後編〉に分けて募集します。受付期間が異なりますのでご注意ください。
- WEB以外のお申込みは一切受け付けません。
- 1回のお申込みにつき、原則1名のみ受け付けます。
- 未就学児童の入場は御遠慮ください。
- 重複のお申込み、期間外のお申込みは無効とします。
- 定員に達し次第、申込受付を終了いたします。申込受付を終了した場合は本学ウェブサイト (<https://www.kcua.ac.jp/>) でお知らせします。
- 申込の結果については、受付完了より1週間前後を目処に、申込時に御登録のメールアドレスにお知らせしますのでご確認ください。
- 受講料(5,000円)は当日受付にて徴収いたします。
- お預かりした個人情報は、本講座にかかる目的以外では使用せず、1か月を目途に廃棄します。

会場

## 京都市立芸術大学 伝音セミナールーム

京都市下京区下之町57-1 (A棟1階)

- 地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車 徒歩6分
- 京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分
- 市バス 4-16・17・81・205・南5号系統「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ

構内に駐車場はございません。各種公共交通機関をご利用のうえご来場ください。



主催 / 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター <https://rcjtm.kcua.ac.jp/> 企画 / 藤田隆則 (日本伝統音楽研究センター教授)

問合せ

京都市立芸術大学事務局連携推進課 事業・広報担当  
TEL 075-585-2006 (平日 8:30～17:15)  
E-mail [public@kcua.ac.jp](mailto:public@kcua.ac.jp)

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts

京都市立芸術大学移転記念事業



前編

## 〈翁〉付〈高砂〉の歴史と背景

〈全5回〉 各日 午後6時30分～午後8時

受講料 5,000円 定員 40名

### 第1回 「開口」私見

2/21  
(水)

講師 恵阪 悟 帝塚山大学専任講師(能楽研究)

「開口」とは脇能の冒頭に行われる演式で、ワキ方が祝詞を独吟する特殊な演出のことをいいます。その来歴について、一つの可能性を考えてみます。

### 第2回 本願寺と能楽

2/28  
(水)

講師 樹下 文隆 神戸女子大学教授(日本文学)

本願寺は、近代まで能楽の重要な庇護者でもありました。本願寺に残る能楽遺産、本願寺及び真宗寺院での本願寺坊官や僧侶の演能活動、翁や神能上演の有無などに焦点を当ててお話しします。

### 第3回 狂言風流について

3/6  
(水)

講師 長田 あかね 神戸女子大学古典芸能研究センター非常勤研究員(能楽史)

狂言風流は〈翁〉の中で、狂言方によって行なわれる特殊な演出です。そのユニークな演技と歴史的背景について解説します。

### 第4回 〈翁〉の魅力ー祝言を超えて

3/14  
(木)

講師 沖本 幸子 東京大学教授(中世芸能研究)

〈翁〉は、能楽の中でも特殊な位置にあって、多彩な魅力を持つ芸能です。〈翁〉の古態を探りながら、その魅力に迫ります。

### 第5回 祝言と能〈高砂〉

3/27  
(水)

講師 大谷 節子 成城大学教授(国文学)

仲睦まじく齢を重ねた夫婦という具体相を添えて造型された能〈高砂〉は、長きに亘って謡い継がれ、最も親しまれる祝言の能です。能〈高砂〉の読解を通して、祝言の本質を考えます。

後編

## 〈翁〉付〈高砂〉の舞台・演技・演出

〈全5回〉 各日 午後6時30分～午後8時

受講料 5,000円 定員 40名

### 第1回 東アジアにおける松の意味と造形

4/3  
(水)

講師 竹浪 遠 京都市立芸術大学教授(東洋美術史)

松は日本や東アジア地域で古くから重要な植物モチーフとして表され、日本の能楽にも登場します。その長くて多彩な意味と造形の流れをたどります。

### 第2回 インタビュー 笛方に聞く

4/11  
(木)

話し手 森田 保美 能楽笛方森田流

聞き手 藤田 隆則 京都市立芸術大学教授 他

〈翁〉付〈高砂〉の笛を勤めていただく森田保美氏に、〈翁〉と〈高砂〉の演出や、その聞きどころを解説していただきます。

### 第3回 インタビュー シテ方に聞く

4/17  
(水)

話し手 金剛 龍謹 能楽シテ方金剛流 京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師

聞き手 藤田 隆則 京都市立芸術大学教授 他

〈高砂〉のシテを演じていただく金剛龍謹氏に、その見どころを解説していただきます。また、ご宗家が舞われる〈翁〉についてもふれていただきます。

### 第4回 インタビュー 小鼓方に聞く

4/25  
(木)

話し手 吉阪 一郎 能楽小鼓方大倉流

聞き手 藤田 隆則 京都市立芸術大学教授 他

〈翁〉付〈高砂〉の小鼓(頭取)を勤めていただく吉阪一郎氏に、〈翁〉と〈高砂〉の演出や、その聞きどころを解説していただきます。

### 第5回 〈翁〉〈高砂〉の特殊演出

5/1  
(水)

講師 高橋 葉子 京都市立芸術大学客員研究員

〈翁〉〈高砂〉の囃子には、他の作品では行われることのないさまざまな特殊演出が組みこまれています。祝言性を高めるための特殊演出について解説します。

Celebratory Noh: A Formal Performance of Okina and Takasago

京都市立芸術大学移転記念事業

# 祝賀能

## 〈翁〉付〈高砂〉

## 2024年 5月3日(金・祝) 15時開演予定

会場

京都市立芸術大学  
堀場信吉記念ホール  
京都市下京区下之町57-1

2024年 2月  
チケット販売開始予定!

詳細は本学WEBサイト・本事業案内チラシ等をご覧ください。